



国際サンゴ礁イニシアティブ (ICRI)

「行動の呼びかけ」

第1回 ICRI ワークショップ

1995年6月2日、フィリピン、ドゥマゲッティ市

国際サンゴ礁イニシアティブ (ICRI) を支持する国及び機関は下記事項を検討するよう要請する：

地球規模の問題

サンゴ礁の減少は世界的に進んでおり、特に浅海の大陸棚付近や人口密集地で著しい。地球上のサンゴ礁の1割がすでにかなり劣化しており、それを相当上回る割合のサンゴ礁が危機的状況に陥っていると推定される。この傾向が続けば、21世紀には世界のサンゴ礁資源のほとんどを失うことになる。

サンゴ礁生態系への脅威

サンゴ礁の健全性が失われている理由は多様かつ複雑であり、正確な判断を下すことが困難な場合が少なくない。暴風による破壊や天敵による食害、水温の変化などの自然現象もサンゴ礁生態系に影響を及ぼすが、現在の生態系劣化の主な原因は人間活動である。サンゴ礁生態系に影響を及ぼす要因には以下のものがある：

富栄養化、有害物質による汚染、乱獲、埋め立て、ダイビングやレジャーボートなどの活動による直接的影響。

沿岸陸域の土地利用計画及び管理の不備。

水温及び海水面の変動、降雨や台風、海水循環の自然パターンの変化などを含む気候変動による潜在的な影響。

人口増加、汚染の増大及びサンゴ礁資源の利用の増大は、自然環境だけでなく社会的な影響を伴ってサンゴ礁生態系の減少をさらに速める。

サンゴ礁生態系の重要性

サンゴ礁生態系が食糧生産、観光、レクリエーション、景観及び海岸線の保護に貢献していることは良く知られているが、それ以上の利益を人類にもたらしている。

サンゴ礁生態系は世界中の沿岸地域において多くの地域社会を支えており、国家や地域にとって経済的社会的、そして文化的に極めて重要である。

サンゴ礁資源が人間社会に様々に利用され、その競争が激しさを増すに従い、サンゴ礁生態系の重要性もさらに高まっている。

サンゴ礁生態系は世界で最も生物生産性が高く多様な生態系の一つであり、周辺環境の健全度の指標ともなる。このことは1992年に開催された環境と開発に関する国連会議（環境サミット）において認識され、サンゴ礁と関連する生態系の保護に高い優先順位が与えられた（アジェンダ21）。

脅威の削減

サンゴ礁生態系に対する人為的な脅威は、以下の事項によって最小限に抑えられるか、あるいは排除することができる：

保全管理を改善し、持続可能なものとする。

サンゴ礁生態系管理のための国家および地域の能力を向上させること。

サンゴ礁生態系管理に対する政治的支援を増大させること。

サンゴ礁生態系の健全度の維持に関する既存の重要な情報及び新たな情報を共有すること。

ICRIに参加する各国政府は、国際的、地域的及び国内的活動を通してICRIの理念を実践するために、以下の措置を承認する。

沿岸管理

総合的な沿岸管理を地元地域社会や国及び地域の沿岸開発計画及びプロジェクトに取り入れ、その長期的な実施を支援すること。またこれらの措置をサンゴ礁と関連する生態系の持続可能な利用と健全度を維持させるための枠組みとすること。

地域、国家及び地元地域社会レベルでのサンゴ礁イニシアティブを開発すること。それらのイニシアティブは生態系を基本単位として、サンゴ礁資源における地域主体の管理又は共同管理のような総合的な取り組みを行うものとする。

能力養成

知識、技術及び情報を共有するための地域ネットワークの構築。

人間活動による悪影響を削減することを目的にした、教育情報プログラムの開発及び支援。

サンゴ礁資源と利害関係を有する地域社会との情報交換システムの構築。

サンゴ礁管理のための財政、技術支援に関して、途上国が援助を得る機会の向上。

研究・モニタリング

各国の研究計画を調整し、協力を促進するために地域ネットワークを利用すること。

CARICOMP（カリブ海沿岸海洋生産性）や PACICOMP（太平洋沿岸海洋生産性）、GOOS（地球大洋観察システム）等の地域および地球規模の研究・モニタリングネットワークとの連結を促進すること。

人間社会の利益のために、サンゴ礁生態系の管理に不可欠とされる研究やモニタリング、プロジェクトの立案と実施を支援すること。

地球規模サンゴ礁モニタリングネットワークの構築と維持を促進すること。

再検討

イニシアティブにおいて認められた活動の実施状況を定期的に点検すること。

ICRI を支持する国及び機関は、その他の関連国際組織、政府機関、民間企業、学術団体などを含む NGO に対して、前述の活動を推進することを要請する。